

沖縄21世紀ビジョンとは？

沖縄の将来像を県民みんなで描く

21世紀ビジョンは、県民のみなさまからのご意見やご提言などをもとに、将来(2030年)のあるべき沖縄の姿を描き、その実現に向けた取り組みの方向性などを明らかにする基本構想です。

何故いま、沖縄21世紀ビジョンが必要なのか？

大きな変化をチャンスにしてみんなで未来を切り開く

日本は、本格的な少子高齢化・人口減少社会を迎えるなか、急速な情報化や国際化が進むなど、大きな変化の時期にさしかかっており、沖縄も決して例外ではありません。また、地方分権改革や道州制議論の活発化、大規模な米軍基地の返還が迫っていることなど、沖縄を取り巻く環境も大きく変化しています。こうした中、多くの方が、現状への不満と将来への不安を持っています。いまこそ、私たちの子や孫の世代をしっかりと見据えた、本当の豊かさを追求する長期的な戦略が必要です。

沖縄21世紀ビジョンをどうやってつくるのか？

平成20年

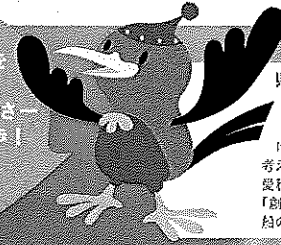
有識者などによる議論

県民議論

作文コンクール
地域フォーラム
シンポジウム
など

平成21年9月 「沖縄21世紀ビジョン(仮称)」の作成・公表

ウチナーの未来をつくるには、みんなの意見が大切さー
3つの行動の第一歩！
みんなの考えを聞かせてねー



県鳥 ● ノグチゲラの
げらゑこい
げらゑ2121
げらゑ2121は、沖縄の未来をみんなと一緒に考え、創造するためにやっつけたノグチゲラです。愛称の「げらゑ」は、琉球王朝時代に「作り出す」「創造する」という意味で使われており、王府首約の愛称としても使われていました。

沖縄の未来をつくるための3つの行動

考える

描く

挑戦する

沖縄21世紀ビジョンの視点

何を残し、何を变えるのか

変化の激しいときこそ、長い目でものを見なければなりません。沖縄の将来像を描くうえで、「何を残し、何を变えていくのか」を明らかにすることが重要です。沖縄の良さを守り、受け継ぐと同時に、新しい時代に対応した仕組みづくりに取り組んでいく必要があります。